

つるみ
JAZZ
らい
フェスティバル

鶴見愛
未来もずっと
このまちと

Tsurumi
100th
Anniversary

2027年は鶴見区制100周年

音楽でつながる、未来のつるみへ

つるみらい JAZZ フェスティバル

みんなちがって、みんないい音楽

子どもから大人、プロまで
ジャンルをこえて、世代をこえて、
鶴見から未来へつながるフェスティバル

入場無料!

どなたでも
ご来場いただけます

2026.
11.22 日
10:00~20:00 (予定)

サルビアホール

(横浜市鶴見区鶴見中央 1-31-2)

鶴見公会堂

(横浜市鶴見区豊岡町 2-1)

主催：つるみらいJAZZフェスティバル実行委員会 共催：鶴見区民文化センターサルビアホール
後援：鶴見区役所・鶴見自治会連合会・鶴見区小学校長会・鶴見区中学校長会
鶴見法人会・鶴見区工業会・鶴見区商店街連合会

最新情報は
こちらから! →



つるみらい JAZZ フェスティバル プレイベント

つるみ
JAZZ
ら
い
フェスティバル

TSURUMI
100th
Anniversary

鶴見愛
未来もずっと
このまちと

つるみらい JAZZ 講演会

～なぜ今、鶴見で JAZZ フェスティバルなのか～

2027 年の鶴見区制 100 年を祝うため昨年から始まったつるみらい JAZZ フェスティバル、今年はそのプレイベントとして三つの講演会を開催します。

そしてなぜ今、鶴見で JAZZ フェスティバルなのか、ということをはっきりとします。鶴見、いや横浜は、幕末の生麦事件以来諸外国に開かれ、外国との最前線としてさまざまな文物が到来しました。かつて鶴見にあった花月園はラテン音楽、JAZZ、ダンスなどがいち早く披露され、ここから日本の各地へ広まりました。そうした DNA がいまだに息づく鶴見の街だからこそ、横浜の JAZZ を牽引する JAZZ フェスティバルを開催するのです。

第 1 回

2026 年
8月26日(水)

18:30～20:30

KTa☆brasil
ケイタブラジル
「生麦事件と
グローバル社会」



Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人 100」等多数のタイトルを持つ打楽器奏者。ブラジル・リオの名門サンバチーム公認指導者。プレゼンター、国際理解教育講師。各国政府・国際企業経歴。執筆・撮影は「地球の歩き方 横浜市」他多数。洋書調所の頭「真下晩菰」6 世。曾祖父より花月園に出入。

第 2 回

2026 年
9月10日(木)

18:30～20:30

小針 俊郎
「JAZZと
横浜の歴史」



ジャズ評論家、プロデューサー。1970 年に株式会社エフエム東京入社、番組の編成・制作セクションに勤務。2007 年退社。現在ジャズのイベント・CD やラジオ番組の制作、新聞、雑誌等へのジャズ関連の記事執筆を行う。横浜ジャズ協会副理事長、日本ジャズ音楽協会理事長

第 3 回

2026 年
10月6日(火)

18:30～20:30

齋藤 美枝
「マダム平岡と
花月園ダンスホール：
日本ダンス文化の源流」



鶴見歴史の会会員、大本山總持寺布教教化部史料編集室委員、生麦事件参考館サポーター。黒川莊三手記『千草』解説刊行に参画。著書『鶴見花月園秘話 東洋一の遊園地を創った平岡廣高』『鶴見總持寺物語』『鶴見ゆかりの人物誌』

8/26



9/10



10/6



お申し込みは各回とも、Peatix の上記 QR コードから各ページへ飛び、手順に従いお申込みください。また下記 E メールでも

主催 つるみらい・JAZZ フェスティバル実行委員会

共催 鶴見区民文化センターサルビアホール

後援 鶴見区役所、鶴見自治連合会、鶴見区小中学校長会、鶴見法人会、鶴見工業会、鶴見商店街連合会 ほか

入場無料 100 人。申し込みは上記 QR コードから Peatix にて、または E メール、tsurumirai.festival@gmail.com へ、お早めにご

会場は、毎回いずれも、鶴見駅東口、鶴見区民文化センターサルビアホールの 3 階音楽ホール